

豊水

Shizuoka Deep Seawater ARC NEWS

Vol.25

静岡県水産技術研究所

駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center

of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery

駿河湾深層水研究成果等の御紹介の集い

駿河湾深層水水産利用施設では、駿河湾深層水の水産分野における利活用研究を平成16年度から行っており、アカザエビやサガラメの養殖技術の開発等数々の成果を挙げてきました。さらに、今年度から企画加工研究室において食品や健康分野への利活用研究を新たに開始しました。

そこで、日ごろ深層水に係わる仕事をされている方々を対象に、成果や今後の計画の御紹介と意見交換を目的として、「駿河湾深層水研究成果等の御紹介の集い」を8月7日に以下の次第で開催しました。

- 1) 「駿河湾深層水研究の概要」吉川(昌)主任研究員、
- 2) 「サガラメの陸上養殖」野田主任研究員、
- 3) 「大型海藻の有効成分と利用」吉川(康)主任研究員、
- 4) 「アカザエビの種苗生産研究」松浦副主任、
- 5) 「食品、健康分野への深層水の利用効果」羽田主任研究員

焼津市役所をはじめ、焼津漁業協同組合、小川漁業協同組合、焼津商工会議所、駿河湾深層水利用者協議会の皆様に参加していただき、活発な質疑と意見交換を行いました。深層水利用についての成果の周知および新たなる発想の素を探るために、これからも機会あるごとに「集い」を開催していきたいと思えます。

(吉川 康夫)



写真 挨拶する安井所長

駿河湾を震源地とした地震の影響について

8月11日早朝に焼津市内では震度6弱の強い地震が発生し、市内各所で瓦が崩れるなどの被害がでました。とくに震源地に近かった駿河湾深層水取水施設および水産利用施設では、大きな影響が出てしまいました。

地震直後に2本ある取水管のうち397m深層水は停止し、687m深層水は灰白色の泥水となり水温が上昇しました。

397m深層水は、地震後しばらくして水温、水質が地震前の状態までほぼ回復したため、水質検査で安全性を確認した後、8月30日に一般給水を再開しました。しかし、送水が急停止したときの圧力変化のため、水産利用施設内の送水パイプが数箇所つぶれてしまうという被害が出ました。

一方、687m深層水は依然として水温は高く、水質も回復する気配が無いことから、海底に敷設した取水管が破損している疑いがあると考えられ、一般給水は再開していません。県としては687m深層水取水管について、年内を目途に調査を実施する予定です。

これらの影響により、687m深層水で飼育している生物の飼育水を表層水に変更せざるを得なかったため、その影響で死亡したり、病気に罹ったりといった被害も一部に発生しました。

今後、深層水研究室では、限られた駿河湾深層水を効率的に利用することを心がけ研究を続けていきます。

(吉川 康夫)